



神楽舞

潟東地区の国見で秋祭りに奉納される神楽舞は、有志によって大正時代に復活されたもの。豊作を祈る悪魔祓いをはじめ、夫婦円満、家内安全、無病息災などを願う舞が次々と展開されます。また、巻・岩室地区でも神楽舞が伝承されています。



鯛車

鯛車は、江戸時代末期から巻地区に伝わる郷土玩具。祭りやお盆になると、子供たちが家の周りを引いて歩きました。ロウソクを灯した時の幻想的な雰囲気魅力です。この伝統を保存しているごと、制作教室なども開催されています。



のぞきからくり

江戸時代に原型ができ、大正・昭和初期にかけて全盛だった大道見世物の一種「のぞきからくり」。戦後は完全に姿を消しましたが、原型に近い形が残っているのが、巻地区で保存されてきた一台。巻郷土資料館に展示されています。



毒消し売り

明治から昭和の前半、食あたりを治す薬である「毒消し」を携えた越後の女子衆が関東・東北地方を行商し、行く先々で親しまれていました。発祥の地は巻地区の角海浜。最盛期には製造元が20軒以上、行商に出たのは2千人を超えていたそうです。



鈴おどり

中之口地区の打越でお盆の時期に広く踊られていた伝統芸能で、鈴をシャンシャンと鳴らしながら踊ります。一時は廃れたものの、平成8年に「鈴おどり保存会」が発足、毎年8月に鈴おどり大会が開かれています。



仕掛花火・草花火

地元の花火師による手づくりの花火。破裂音とともに火の粉が舞い散るさまは圧巻です。また花火囃子も欠かせません。昔この土地に流れ着いた平家の落武者が伝授した秘曲がルーツだとか。哀愁に満ちあふれた篠笛の音色は、伝統に培われた華麗な花火に味わいを加えます。

和納十五夜まつり

岩室地区和納で8月上旬に開催され、少年たちが棒をたくみに操る「棒遣い」や神輿渡御などが行われます。クライマックスは、三社神社境内で行われる「仕掛花火」と、男衆が手持ちする「草花火」の競演。花火囃子と共に披露される、全国でも珍しいまつりです。



どろんこカップ

潟東おまつり広場のメインイベントとして、平成8年から始まったどろんこカップ。水田を会場に、バレーボール・宝探し・ビーチフラッグならぬどろんこフラッグなどの競技が行われます。全身泥だらけになりながらの熱戦に、観客も盛り上がります。

潟東おまつり広場

「帰省した人にふるさとへの思い出を」を合言葉に、毎年8月16日、潟東体育館前特設会場でイベントが開かれます。昼間は「どろんこカップ」、夕方からはジャンボカレーライスのサービスにステージショーが加わり、住民手づくりのまつりが最高潮を迎えます。



越後傘ぼこ行列

曾根神社から琴比羅社までの約1kmを練り歩く傘ぼこは、江戸時代、裕福な地主や庄屋が家の繁栄を祈り、豊かさを誇示したのが始まり。上には一寸法師や江戸火消しなどの人形が取り付けられ、見物客の目を引きます。

西川まつり

8月下旬の曾根神社秋季大祭に合わせ、福みこし、民謡流し、コンサート、花火大会などが開催される西川まつり。江戸時代から伝わる曾根神社の「神輿渡御」は、傘ぼこを先頭に、山車、御稚児様、鉄砲持ちなど約500人が練り歩きます。



やかた竿燈

まき夏まつりの最終日を飾るやかた竿燈は、約30年前、地元商工会青年部のメンバーを中心に考え出されたもの。和太鼓の音をバックに若者の熱気が爆発する瞬間は、まつりのフィナーレにふさわしい盛り上がりです。

まきのにぎわい

まき夏まつり

まき夏まつりは巻神社大祭に合わせて6月の14〜16日に最も近い金・土・日の3日間行われます。新潟市で最も早く開催される夏まつりです。「やかたおけさ」「巻甚句」を踊る民謡流しから始まり、江戸時代から続く神輿渡御、山車、花火大会などが繰り広げられ、迫力ある「やかた竿燈」がまつりを締めくくります。



中之口大花火大会

新潟の花火大会のなかでも、巻に続いて、いち早く行われる中之口大花火大会。田園風景のなか、約130発の花火が、夜空を彩ります。ゆったりと観覧しながら、夏の訪れを感じることができる、のどかな花火大会です。

中之口まつり

昭和56年(1981)から始まった、地元住民が手作りで盛り上げる中之口まつり。子供みこし、花火大会、ちびっこ相撲、フリーマーケット、ステージショーなどの催しが行われ、地区全体が賑やかな雰囲気になり、2日間です。毎年7月上旬に開催されています。



岩室甚句

岩室甚句は新潟県を代表する民謡の一つ。コミカルな歌詞と独特な節まわしで知られています。江戸時代に盆踊り唄としてうたわれたのが、しだいに岩室温泉のお座敷唄として進歩。岩室なまりを盛り込みながら三味線や太鼓でアレンジされ、昭和の初期に完成し、今に伝わっています。

岩室温泉まつり

毎年8月下旬頃に開催される岩室温泉まつり。初日は岩室神社の神事である神輿渡御と花火大会が行われます。翌日は芸妓も登場する若者みこしや艶やかな芸妓屋台踊り、仕掛花火などで盛り上がりがあります。

まき夏まつり

夏が近づくと、街はにわかに活気を増してきます。地域それぞれの特徴ある催しに、夜空を彩る花火…そう、夏まつりの季節です。